



山崎会（南九州市）

発表者：大場 司 氏

皆さんこんにちは。ただ今ご紹介いただきました山崎会の大場 司と申します。

本日は、思いがけない表彰をいただき、誠にありがとうございます。また、このような場において山崎会の活動事例発表の機会をいただき、誠に光栄に思っております。

1 はじめに

山崎会は、南九州市穎娃町の南部に位置し、山脇自治会と赤崎自治会が一緒になり、会ができました。現在は山脇自治会のみで活動していますが、世帯数が68世帯、人口160人、山崎会の会員数は57名の小さな自治会です。

私は宮城県出身で神奈川の相模原市に50年余り住んでいましたが、5年前に義父母の介護のために穎娃町に来ました。何度か穎娃町には帰省していたので、地域の方々とは面識があり、すぐ老人クラブにも加入させてもらい、4年前に山崎会の総会に参加した折、会長に指名されました。

私には穎娃の方言の穎娃語がほぼ分かりません。会長を受ける条件として私にアドバイザーをつけてほしいと申し出たところ、私の指名する方が快く承諾してくれましたので、会長を受けることにしました。アドバイザーの方と話し合いの上、自治会での伝統的な行事やしきたりはアドバイザーに助言してもらうようにし、会長を4年間続けることができました。

山崎会の組織は、会長、副会長（女性2名）、会計、監査役のほか、アドバイザー、企画委員（2名）の役員で構成しています。

私たちの自治公民館には小さな小屋があり、10人位が座れる長椅子と囲炉裏があります。月に1～2回集まって焼酎を飲みながら色々な話をしています。私は、その集まりを「テーマのない座談会」と呼んでいます。これから発表します活動は、テーマのない座談





会の中で話題になり、企画部が中心になって実行に移したことが殆どです。

それでは、活動内容を発表します。

2 ふれあい交流

ふれあい交流についてでございます。

サロンが発足した経緯ですが、テーマのない座談会で自分たちだけが集まって話をするばかりでなく、老人クラブ全体に話を持ちかけ、一度公民館に集まってみんなで話し合いをやってみようじゃないかということになりました。早速社会福祉協議



会に相談に行ったところ、そういう会をぜひ立ち上げて活動を続けていくようにと助言され、そのことをテーマのない座談会で報告し、会の名前をみんなで考え、「いんもそサロン」（みんなで行きましょう）という名前にしました。内容としては、講師を招いての健康体操やゲーム、自分たちで作ったビンゴゲームを行うとともに、心の歌等の歌集を作成するなどしてみんなで楽しい時間を過ごしています。これからもみんなで「いんもそやな」とサロンに行くことを楽しみにしてもらえる会にしたいと思います。

次に、地域の子どもたちとの交流として、自治会の花壇を年に4回手入れをし、季節の草花を話し合いながら楽しんで植え替えをしています。また、毎年9月に朝から夜にかけての十五夜行事として、午前中は自治会の草刈り、防災訓練、そして午後は十五夜行事の綱かきがありますが、これらは元々壮年部、青壮年部の仕事ですけれども、老人クラブのアドバイザーが中心となって次世代に継承しています。

3 健康づくり

健康づくりについてお話しします。

自治会でグラウンドゴルフがやれる場所が無かった関係もあったのか、相当前からゲートボールをやっています。4年前には7名位でしたが、今では20名を超えるメンバーが楽しんでいます。練習は火・木・土曜日の午後1時から夕暮れまで公民館でやっていますが、公民館は高台にあり坂を上がってくるのが大変ですけれども、これも健康に役立つのか、92歳を先頭にみんな元気でゲートボールや談義にとっても盛り上がり楽しんでいます。



練習後、月に1～2回は夕食を一緒にとラーメンパーティーをやって楽しんでいます。本



当に楽しい一時です。当初ゲートボール場は砂地でしたが、穎娃町の他のゲートボール場は芝のグラウンドが多く、何とか芝にできないかとテーマのない座談会で話題になりました。芝を購入すると40万円位掛かるということから、有志で農道の芝を削ってきて約150坪を芝に変えることにしまし

た。今では立派な芝のゲートボール場になっています。これは、作業が終わって一日の反省をしているところです。

次に、今回で4回目になりますが、子どもたちが夏休みに入ってすぐの7月21日から10日間にわたって山脇ふれあいゲートボール大会がナイターで行われます。これは自治会主催ですが、進行、審判は全て山崎会で行っています。自治会を4班に分けて各班から2チームずつ出してリーグ戦で試合を行います。子どもから高齢者まで自治会の全ての方が参加しますので非常に楽しい10日間です。

次に、携帯用緊急連絡カードについてですが、私たちの自治会も他と同様に高齢化が進んでおり、1年前に1人の女性が徘徊し、警察に保護されたことがありました。この件がテーマのない座談会で話題となり、万が一事故に遭ったときに役立つような名刺サイズの携帯用緊急連絡カードを作りたいと会員に諮ったところ、是非作ってもらいたいとの意見でした。市役所に相談したところ賛同が得られ、その情報は市及び消防署にも共有していただいています。これが緊急連絡カードです。

4 生きがづくり

生きがづくりについてでございます。

やはりテーマのない座談会で、どの家でも野菜を作っていますが、遠方にいる子どもや孫に野菜などを送ったとしても余って駄目してしまうので、何かいい方法はないものかと話し合った結果、100円ショップはどうか、自分の家で余ったも





のを持ってきて足りないものを買っていく、売ったり買ったりする店という意味で「うっもそ・こっもそ店」として昨年12月にオープンしました。大変評判よく、自治会の人だけでなく遠いところからも車で買いに来てくださる方もいます。出品者は自分の商品が売れたかが心配で昼ごろに店に見に来ます。また、夕方にも心配になり見に来ます。私たち高齢者には、店に行ったり来たりすることで健康寿命を延ばすのにも役立っているみたいです。出品者は現在30名です。開店1か月頃は金庫に100円玉の代わりに1円が入っていたり、5円、10円が3枚とか色々なことがありました。そこで、この店は高齢者の善意で行っている旨の掲示をしたところ、2か月、3か月と少なくなり、現在はあまりそういうことがなくなりました。この7月までの売り上げは8か月で50万円になり、1か月当たり約6万円になっています。2割を維持費として蓄え、残りを出品者に支払います。皆さん本当に喜んで頑張っています。

5 社会奉仕活動

社会奉仕についてでございます。

地域の子どもは地域で守るということで小学生の登下校見守り活動を行うことになり、毎日のことなので老人クラブ全員に募集したところ、13名の方が賛同していただき、その人たちの中で時間の許



せる方が見守りを行っています。また、同メンバーは地域の高齢者の見守りや声かけも週1～2回行っています。このメンバーは、ステップ会として見守りだけでなく、自治会公民館周辺の草刈り・整備や公民館庭の芝の管理、100円ショップの建物の維持管理も行っています。その他気がついたことは大体ステップ会の活動になっています。

次に、テーマのない座談会で地震が話題になり、私の故郷東日本大震災、その後熊本地震と続いたので、2か月に1回のサロンの日に合わせて避難訓練をやったらという話がありました。自治会には防災組織がありますが、若い人たちが中心で昼間は仕事に出ていることから、いざというときの即戦力は家にいる老人クラブなのではないかと思い、自治会の防災組織が立ち上がるまでの間、高齢者の人たちだけでも避難させてはということになりました。第1回目の避難訓練を7月19日に行うことを決めましたが、7月16日に穎娃町で思いもしない震度5の地震があり、避難訓練の重要性をみんなで認識しました。



第1回目の避難訓練の内容を申し上げますと、午後2時30分に自治会放送にて「地区公民館に近い人は地区公民館に避難してください、その他の人は山脇公民館に避難してください」と避難開始を告げます。携帯用緊急カードの大判を作り、避難してきた人にそのカードを渡し、裏面にはその人

の現在の状態を記入するようになっています。例えばAさんは避難が完了したけれど、Bさんと一緒にCさんの安否確認に行くを書いて本部に置いて出かけます。安否確認に行くときは必ず2人以上で行くようにしています。避難訓練の結果、避難開始の放送からクラブ会員全員の安否確認を完了した時間は43分でした。避難人数35名、自宅待機者8名、施設利用者（デイサービスを含む）3名、仕事従事者11名でしたが、時間が掛かったのは数名の所在不明者の確認に不測の時間を要したことが原因でした。カードは会長である私が保管・管理していますが、私が留守の場合を考え、もう1枚の名前だけのカードを自治公民館に保管して、正規のカードが来るまではそのカードを使い避難者を把握することにしています。訓練のときはこのカードを使いますが、主カードは個人情報が含まれていますので、訓練には使いません。以上のようなことを避難訓練のたびに復習し、更に炊き出しや在宅小学生の保護などの項目も入れて訓練を重ねていく予定です。

なお、第2回目は9月1日に実施し、安否確認完了までに23分掛りました。

6 おわりに

以上、山崎会の活動報告をさせていただきました。

今後の課題としては、自治会に未就学児が全くいない現状で、私たち高齢者の役割や心構え、日常生活をじっくり考える時期に来ています。自分たち高齢者が元気であることや、健康寿命を延ばすことは、遠方にいる子どもたちも親の面倒を見に来やすくなります。これからの高齢者集落は、高齢者がいかに長く健康寿命を延ばすかで地域の繁栄があると思います。山崎会は、これを目的として自治会全体で話し合い、色々アイデアを出し合って活動していきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。